

「生徒が輝く 日本一の小規模校」を目指して
 自立した社会人の育成(基盤づくり) ~ 「夢」・「努力(=やり抜く)」・「感謝」 ~



平成25年度矢板市立泉中学校だより【第5号】

中学「い、ずみ」

■発行/平成25年6月11日(火)

小中合同体力テスト実施

5月28日(水)9:30~12:00泉中学校で、泉小中で合

同の体力テストを実施しました。

心配された天気も何とか雨も降らずに、無事予定通り種目を終了することができました。体育館で行われた反復横跳びでは、小学生の記録を中学3年生がカウントするなど、合同ならではの光景も見られました。

なお、連絡が遅れましたが5月8日(水)には小中合同の民生委員・児童委員との懇談会が泉中で行われ、情報交換が行われました。お忙しい中お越しいただいた各委員さんには大変ありがとうございました。



小学生の反復横跳びの回数を数える3年生

H25 第1回校内持久走大会

小中一貫教育の具体策である「持久力向上」の実践、第7回(平

成25年度第1回)校内持久走大会を5月31日(金)校外「ロード方式」で実施しました。

ロード方式とは、中学校の西側を流れる大江川の管理道路と高速下の道路を使用し1周1Kmのコースを設定。男子はそこを3周、女子は2周走るものです。除染により砂が多くなった校庭と違い、ロードは走りやすく記録も狙えます。その上、4月に入学した1年生も初参加。触発された上級生が真剣に走る姿が、とても印象的でした。その結果、以下のように全体的に個人の記録の伸長が見られるなど大変価値ある大会となりました。

次回の予定は6月21日(金)。今後も各自の記録更新を目指して日々の持久力向上タイムに真摯に取り組む生徒の姿を楽しみにしています。

「頑強な体を持ち、気力溢れる泉中生」の育成のため、今後も全校をあげて持久力向上プロジェクトの充実に努めます。保護者の皆様方の御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

◆H25 第1回校内長距離走大会(通算7回目)入賞者一覧 5月31日(金)実施 ○は自己新記録

	男子 3,000m(ロードコース)			女子 2,000m(ロードコース)		
大会記録	2013.3.14	村山卓也	10分23秒	2013.3.14	阿美真衣	8分27秒
1位	3年	村山卓也	新○10分10秒	2年	鈴木菜那	○8分28秒
2位	1年	村上和寿	10分16秒	3年	森本由姫	○8分30秒
3位	3年	手塚新輔	○10分45秒	2年	森戸聖実	○8分33秒
4位	3年	五月女友哉	○10分54秒	3年	荒井美紅	○8分51秒
5位	3年	鈴木勇太	○11分22秒	2年	吉成加奈	○8分53秒
6位	3年	菊地慶也	11分30秒	3年	工藤麻衣	○9分06秒
7位	3年	松平真宣	○11分32秒	2年	薄井美香	○9分12秒
8位	2年	片山順平	○11分36秒	3年	小林さくら	○9分40秒

熱中症予防の研修実施

6月3日(月)の朝会では、全校生徒と全教師で熱中症の3種類とその予防について学習し、これから迎える暑さ対策に備えました。

No.	種類	主な症状	原因や応急手当
1	熱けいれん	手足や腹筋のけいれん	塩分濃度の低下による。塩分補給を。0.9%の生理食塩水。
2	熱疲労	全身の脱力感、めまい・吐き気・頭痛	脱水による。0.2%の生理食塩水。
3	熱射病	意識障害	体温調節機能障害。首、脇の下、足の付け根を冷やす。救急車を呼ぶ。

予防としては、こまめな水分補給(特に激しい運動の場合は塩分補給の必要性)と同時に気温や湿度など環境要因と、体調や運動の内容も考えて取り組むことが大切です。

梅雨時期における室内での熱中症予防。夏の総体に向け本格化する部活動。生徒の自己管理能力の育成を心がけていきたいと考えています。御家庭でも規則正しい生活や食事等御協力いただければ幸いです。

各種コンクール等の結果

本校を窓口として参加したものの結果をお知らせいたします。

◆県中学春季スポーツ

- 野球 1回戦 泉2-0古里、2回戦 泉0-3久下田
- 陸上 男子1年1,500m 1位 4分33秒42 村上和寿

学校評価アンケート結果

学校評価集計結果について

5月に実施した学校評価アンケート結果についてお知らせします。生徒は10項目のうち8項目、保護者は9項目のうち6項目で肯定的な意見が80%を超えています。生徒では⑥あいさつ、⑦言葉遣い、⑨部活動、⑩交通安全では90%を超え大変良い傾向が見られます。

しかし、家庭学習に関する項目（生徒③、④、保護者③）では、課題があります。学校では、機会あるごとに継続的な指導をしていきたいと考えています。また、進路に関しては、生徒は考えているという肯定的な意見が80%を超えていますが、保護者の肯定的な意見は60%を切っています。進路希望調査等を利用して家庭で話し合いの機会がもてると良いのではないのでしょうか。

